

冠動脈ロータブレード治療後の予後に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：平成 29 年 10 月 4 日～平成 32 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

冠動脈石灰化病変に対するロータブレード使用症例の自施設での予後に関する後ろ向き検討

〔研究目的〕

冠動脈高度石灰化病変の患者様は高齢化に伴い増加傾向にあります。石灰化が高度な場合には治療後の再狭窄やステント血栓症が起こりやすいため、ロータブレードで石灰化を切削する治療が行われてきました。しかしその長期予後に関する調査は十分に行われておりません。本研究を通じて、その長期成績と予後に影響する因子を検討したいと考えます。

〔研究意義〕

本研究を通じて成績や影響する因子が解明されることにより、治療成績を改善するための一助となると考えます。

〔対象・研究方法〕

2004 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの間に虚血性心疾患の治療のためロータブレードを施行された 20 歳以上の全患者様を対象といたします。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部内科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

本調査は、個人情報の取り扱いを含めその実施にあたっては帝京大学の倫理委員会の承認を得ております。また、データは ID 化され、統計的に処理しますので、調査の集計や学会発表等にあたっては個人が特定されることは絶対にありません。データの管理、保管は厳重に行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部内科学講座 講師 興野 寛幸

研究分担者：帝京大学医学部内科学講座 大学院生 片山 大河

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 30415 〕